

ふるさとの歴史を再認

文化
なかの

中野市公民館報

2010

No.65
(通巻No.597)

8

発行
中野市中央公民館
編集
文化なかの編集委員会

〒383-0025
中野市三好町一丁目4番27号
TEL 0269-22-2691
FAX 0269-26-2342

ふるさと歴史探訪

中央公民館は6月30日(水)、ふるさと歴史探訪の4回目「中町の諸変遷」を市街地などで開催しました。

当日は、講師に田中毅先生を招き、約30人が参加しました。

最初に、中央公民館で先生の講義があり、その後、中野陣屋県庁記念館に移動して、法運寺、陣屋井戸、中野神社など、中町周辺を歩いて学習しました。

参加者からは、「実際に歩いてみて、今まで気付かなかったことが多く、とても新鮮でした」との感想がありました。

今年のおふるさと歴史探訪は、「中野の町形の跡をたどる」を主題に、西町、東町、駅前、中町の発展や変遷について学びました。公民館では、これからもふるさとの歴史や文化財を巡る講座を企画します。

法運寺での説明の様子



今月号の
特集

公民館レポート

あおぞら

七夕の日に雅楽鑑賞会に行ってきた。中学生を対象にしてきたためわかりやすい内容の雅楽講座でもあった。

講師は宮内庁式部職楽部で首席楽長をされていた岩波滋さん。雅楽で頂点を極めた人が松本出身で長野県に縁が深いと知りますます興味がありました。管絃の演奏は善光寺大本願雅楽会の18名の方々。心に入るすばらしい合奏に、リラックスして眠気を催した中学生もいた。雅楽は癒しの音楽でもあるようだ。「越殿楽」という曲の演奏にあわせて楽器の譜面を見て歌ったり、雅楽特有の間の間のある拍子と一緒にとって体感したり、使われた8つの楽器の説明を聞いたり、舞楽のかっこよく美しい舞いを観て、あつという間の二時間だった。

岩波さんは「音頭、打合せ、塩梅など雅楽がもたらした言葉も多数ある。雅楽はいろいろな角度から説明できる総合芸術で、語れば一年通しても説明しきれないほど幅広く、日本人の知恵の結晶。」と語った。たしかに、もっと知りたいとか、へえ、そうなんだと思うところが多かった。

雅楽は神社でたまに聞く音楽という程度の認識で、生の演奏を聴いたことがない人は多いと思う。迫力ある演奏や舞を、ぜひ機会があったら足を運び自分の目や耳や脳で感じることをお勧めしたいと思った。平安時代のみやびな音色が千年以上たった今も聞けるなんて、すごい。

(T2)

特集 公民館レポート

平田オリザさんによるワークショップ・講演会

「新しいコミュニケーションの形を体験」

「なかの21市民講座」は、公募の運営委員と市内4公民館が共同して企画運営しています。「21世紀をどのように生きていくか、人

間の根源的な部分から問い深め、豊かな心を育み幸福に暮らせる地域づくりに関わりたい」との趣旨で行っています。

で一人が他人へ体を預けるゲーム、引いた番号で趣味の合う仲間とペアになったりしながら、コミュニケーションの意味を学びました。キャッチボールは、ボールの有無で分けた演劇形式で行うなど、ユーモア溢れる指導に参加者も楽しみながら学習を深めていました。

今年度は7月3日(土)、中央公民館講堂で昨年に続き、平田オリザさん(劇作家・演出家・大阪大学教授)を講師に招き、「住みよい地域づくりを進めるために」をテーマに「新しいコミュニケーションの形」と題してワークショップと講演会を開催しました。

特に北海道富良野市や石川県金沢市、フランスのナント市を例に、文化やコミュニケーションが地域に与える効果を、分かりやすく解説しました。



後半の平田さんの講演会

なかの21市民講座



ワークショップでの指導

前半のワークショップには公募で35人が参加し、平田さんの指導で、コミュニケーション能力を高めるための体を使った講座を体験しました。

参加者からは「コミュニケーションの大切さ、文化の創造の必要性などが理解でき、これからの地域づくりに役立てたい」といった

感想が聞かれました。実行委員会ではこれからも、地域づくりに役立つ「なかの21市民講座」を計画しています。意見や要望も各公民館で受け付けています。

歌声と共にスタート

子ども音楽講座 ミュージカルを楽しもう!

豊田文化センターで7月11日(日)、今年度の子ども音楽講座「ミュージカルを楽しもう!」がスタートしました。

子どもたちがミュージカルの体験を通じて、豊かな自己表現のできる市民に育つ事を目的に、講師に東京学芸大学准教授の嶋崎裕美先生を招いて、全6回の予定で開催します。

当日、25名の参加者があり、自己紹介のあと、この講座のためのミュージカルの楽曲の作詞を

みんなで考え、その後、さつそく歌唱とダンスの指導が行われました。

この講座は公開しており、子どもたちの活動や指導の様子をぜひご覧ください。



先生の指導で作詞に挑戦

語り芝居

「ぼっここの会」公演

豊田文

化センタ

ーホール

で7月4

日(日)、

語り芝居

「ぼっこ

の会」公

演が行わ

れました。

市内の読

み聞かせ

や朗読の

グループ

で構成さ

れている

「おはなし

ネットワーク

☆NAKAN

O」と教育

委員会が共

催で行った

もので、当

日は約250

名が来場し



ぼっここの会主宰のにくらさん

最初に、豊井ふるさと太鼓やネットワークの会員による演奏や発表があり、ぼっここの会による語り芝居「カップの目玉」「念仏三昧」の2つの公演がありました。最初は、ぼっここの会の迫力のある演技に観客も圧倒されましたが、すぐに語り芝居の魅力に引き込まれ、大人も子どもも一緒になって楽しみました。

分館報は地域の

情報の発信源

分館報づくり講習会開催

中央公民館は6月27日(日)、各分館で分館報づくりの参考となるよう、分館報づくり講習会を開催しました。

講師に信濃毎日新聞社読者センター長の山崎竹宜さんを招き、26名が参加しました。

山崎さんは、分館報のポイントを分かりやすく説明し、特に紙面づくりでどの様な事が記事になるかなど、編集会議の大切さや写真の位置、見出しの

付け方などをアドバイスしました。

後半は、実際の分館報を例に良い点や改善点などを指摘し、参加者は熱心に耳を傾けていました。



講師の山崎さん

こんにちは 分館

平野地区の中央に、規則的に並んだ市営住宅の集合団地である泉区。泉区は、その特性上、比較的住民の入れ替わりが激しく、小規模な地区であります。近接する西江部分館さんのご協力の下、毎年様々な活動を精力的に行っております。

泉分館

春のお花見から始まり、『子ども夏祭り』と称した地区の子どもたちとのふれあい事業。秋には、西江部分館さんと共同での文化祭

や、集会所に地区のお年寄りを招いての敬老会等、地域の皆様が、気軽に楽しんで参加していただけるような活動を心がけております。

私は住民の定着率の低い土地柄だからこそ公民館事業を活発に行い、交流を深めていく事が何より大切なのではないかと考えています。一人暮らしのお年寄りや、共働きの家庭比率の多い泉区なので、このような地域の交流事業により住民の皆様がより一層強くなり、安心して暮らしていける地域作りのお手伝いが出来る様、公民館活動に精を出していこうと思います。(分館長 堀籠雄貴)



昨年の敬老会の様子

ふるさとの歴史

江部地区にある泉団地の歴史は、昭和三十六年から中野市が、住宅不足対策と市人口増をめざして、豊かな清水の湧くこの地に、四〇年までに準耐火平屋建て住宅一五棟六〇戸を建設したことに始まる。

リフォームされた市営泉団地

現在の団地景観は、造成当時とまったく変わって、立派な住宅が立ち並んでいる。それは市が、高度経済成長につれて、この地域の一般住宅の造りや施設設備がよく

なることに鑑みて、市営住宅の改善事業を継続的に行ってきたことによる。まず、高度経済成長がこの地域にも十分及んだ昭和五八年から六二年にかけての「住戸改善策」

七年にかけて、老朽平屋建て住宅を取り壊し、美しい乳白色の木造二階建て(一部平屋)に改築。さらに、平成一年から一三年にかけて、全戸の水洗化工事を実施し、衛生環境を整えて生活をいっそう快適なものとした。

こうした団地の住宅環境の変化も、この団地の歴史を語るうえで忘れてはならないことであろう。現在八〇戸が泉区として生活を共にし、市街地や郊外大型店に近いという地の利もあって、入居希望者が多いという。(阿部敏明)

アダム先生、ありがとう

英会話教室

中央公民館で初級英会話教室を担当した、講師のアダム・ジョン・ストークスさんが、退任する事になり、7月13日(火)、お別れ会が行われました。アダムさんは平成17年に来市し、中学校等での英語指導と共に、公民館での指導を5年間行ってきました。当日は約30人が集まり、今までの感謝の気持を表しました。

アダムさんからは、「別れを言うことはとても辛いですが、でも、それは皆さんと出会い、絆を深められたからだと思えます。5年間、毎週火曜の夜に公民館で英会話講師をしてきたことは特別な思い出です。時の流れと共に講師、生徒とも変わりますが、この教室では英語を学びながらお互いに共感しあい、交流を深めることができます。それはずっと続いていきます。この中野市で、皆さんは私の家族以上の存在です。また会いましょう。心から感謝しています。(要旨のみ)」とありました。

現在、初級英会話教室は、中央と豊田の公民館で行なっていますので、お気軽にご参加ください。



アダムさんへ感謝状を贈呈

力作を展示

市民作品展開催

中野市民作品展が7月17日(土)から19日(月)の日程で中央公民館で開催されました。

当日は、絵画、工芸、書など幅広いジャンルから225名(団体23・個人13)、出品総数441点と昨年以上を上回る応募があり、盛況に開催されました。

毎年、中野祇園祭に併せて開催しており、今年で30回を数え、市民ギャラリー展として定着してきました。期間中は、多くの来場者があり、並べられた秀作・力作に対して興味深く鑑賞していました。



今月の伝言板

講座の詳しい内容につきましては、各公民館までお問い合わせください。

■中央 ☎ 22-2691 ■北部 ☎ 26-0677 ■西部 ☎ 23-1024 ■豊田 ☎ 38-2922

中央公民館ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/kominkan/>

	講座名	日時	場所	講師	備考
中央公民館	シニア大学公開講座 「輝いて生きる ～太陽と月の 生き方に学ぶ～」	9月2日(木) 午後1時30分～3時	中央公民館 講堂	フジゲン(株) 会長 横内祐一郎先生	<受講料>無料 <申込み>不要 (どなたでもお気軽にご参加 ください)
	パソコンサロン <内容>パソコンを使用 していて、わからないところ を指導員がお答えします	毎週月曜日 ※祝日、年末年始を除く ※8月16日(月)はお休み です 午後1時30分～4時30分	中央公民館 団体室	NPO 新技術新興会	<定員>6名 <受講料・申込>不要 ※メニューに沿って進めるパソ コン教室とは異なります。
	公民館ギャラリー 中野俳句会の俳句展				
北部公民館	絵手紙教室	9月16日、30日 10月7日、14日の全4回 毎回木曜日 午後7時～9時	北部公民館 1階会議室	市川 典子 先生	<持ち物> ○お持ちの方は水彩絵の具一 式。(ない方は初回のみお貸し しますので、それからご用意く ださい。) ○描いてみたい素材 <受講料> 無料(ただし、はがき代として 1回100円程度いただきます。)
	パステル アート教室	9月9日(木) 午後7時30分～8時30分	北部公民館 1階会議室	堀米 由雅 先生	<定員>16名(定員になり次 第締切ります。) <受講料> 無料(ただし、材料費として 500円いただきます。) また、作品を入れる額をご 希望の方は1,260円でご用意し ています。
西部公民館	家庭教育学級(すくのみ学級) 【公開講座】 音楽でリフレッシュ 『子どもの情操・親の情操』	8月30日(月) 午前10時30分～正午	西部公民館	飯山中央幼稚園 山崎浩先生	一般の方にも参加いただけます。
	布ぞうり講座	9月28日(火)・30日(木) 10月1日(金)・4日(月) 午後7時～9時	西部公民館	鶴田 和子 先生	<定員>20名<教材費>300円 <持ち物>はさみ、裁縫用具、 古布(柄模様の木綿でこたつ 掛なら1枚程度) <申込み>9月6日(月)から



清楚な夏椿／市内（E）



故郷の夏／永江（ちから）



大賀ハス／浜津ヶ池公園（おにぎり）



アゲハ／一本木（月岡尚雄）

花と季節の写真募集

宛先

☎ 383-0025
中野市三好町一丁目4番27号
中央公民館
☎ 22-2691
Eメール c-kominkan@city.nakano.nagano.jp

文化なかの編集委員会では、中野市内の花や季節の写真を募集します。未発表写真に限り、四ツ切りまで（ワイドサイズも可）のプリント、デジタルデータ（未加工のもの）。氏名、住所、連絡先、作品名、撮影場所、花の名前等を書き送って下さい。匿名希望やペンネーム掲載はその旨をお伝え下さい。随時募集します。

季節のコラム

あの「蛍狩り」はどこへ

6月30日（水）午後7時30分より長元坊団地遊園地・金井堰・笠原堰で「ホタル鑑賞会」（中野ホタルの会・中央公民館共催）が行われた。遊園地での事前学習会の後近くのブドウ畑を縫って流れる金井堰・夜間瀬川と笠原堰で蛍の観察をした。急流や水音、水しぶきをもとめせず、川辺の草むらや水面を何十匹もの蛍が美しい光跡を残していた。淡くあやしい光を見ていると事前に学んだ蛍をバロメーターとした環境問題や蛍の儂い一生のことが脳裏に浮かんでは消えた。子どもの頃、連れ立って箒で追いかけた蛍狩りも懐かしい。大蛍 ゆらり ゆらりと 通りけり 一茶 ホタルのロマンや儂さは、何とも日本的である。